令和７年度　名誉都民候補者

草笛　光子（くさぶえ　みつこ）氏（本名：栗田　光子（くりた　みつこ）氏）

昭和8年10月22日生（91歳　世田谷区在住）
俳優

※年齢は令和7年10月1日現在

経歴

昭和　8年	神奈川県生まれ
昭和25年	松竹歌劇団に入団
昭和28年	「純潔革命」で映画初出演
昭和33年	音楽バラエティー番組「光子の窓」司会
昭和44年	舞台「ラ・マンチャの男」日本初演に出演
昭和51年	市川崑監督の映画「犬神家の一族」出演
昭和56年	舞台「光の彼方に　ONLY　ONE」で第36回文化庁芸術祭優秀賞
昭和58年	舞台「シカゴ」日本初演のロキシー役で第38回文化庁芸術祭優秀賞
平成　4年	舞台「私はシャーリー・ヴァレンタイン」で第47回文化庁芸術祭賞
平成11年	紫綬褒章
平成17年	旭日小綬章
平成25年	舞台「ロスト・イン・ヨンカーズ」のミセス・カーニッツ役で第48回紀伊國屋演劇賞個人賞
平成28年	NHK大河ドラマ「真田丸」出演
平成30年	舞台「新・6週間のダンスレッスン」で第26回読売演劇大賞優秀女優賞
令和　3年	映画「老後の資金がありません！」で第45回日本アカデミー賞優秀助演女優賞・会長功労賞
令和　4年	NHK大河ドラマ通算11作品目となる「鎌倉殿の13人」に出演
令和　5年	著書「草笛光子90歳のクローゼット」発売
令和　6年	映画「九十歳。何がめでたい」で第48回日本アカデミー賞優秀主演女優賞
同　　年	文化功労者

顕彰事由

　氏は、長きにわたり舞台・映画・テレビドラマと多方面で活躍し、その数々の作品と感情豊かな演技は、多くの人々を魅了してきた。

　また、日本のミュージカル界の草分け的存在としてその発展に貢献した功績は多大であり、今なお第一線で活躍を続けるその姿は、人々に希望や活力を与え、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

候補者のコメント

　この度は名誉都民にお選びいただきありがとうございます。

　ご連絡をいただいた時は驚きました。名誉ある都民として生きてきたかしら？これから生きられるかしら？なんてことを考えておりましたが、歴代の顕彰者を拝見しまして懐かしい先輩方のお名前が並んでいましたので、私も仲間入りさせていただきたいと思い有難く頂戴することといたしました。

　まもなく92歳。自由にわがままに生きる毎日を送っています。平和な東京がずっと続きますように。東京都民の皆さんこれからもお世話になります。

令和７年度　名誉都民候補者

戸田　奈津子（とだ　なつこ）　氏

（撮影：笹原清明）

昭和11年7月3日生　（89歳　渋谷区在住）
字幕翻訳家
通訳者

※年齢は令和7年10月1日現在

経歴

昭和11年	福岡県に生まれ、1歳で東京府（現東京都）に移住
昭和33年	津田塾大学学芸学部英文学科卒業、第一生命保険相互会社入社
昭和34年	フリーランスで英文執筆や英文翻訳の仕事を始める
昭和45年	映画「アリスのレストラン」のプロデューサーの通訳を務める
同　　年	フランソワ・トリュフォー監督映画「野生の少年」で初の映画字幕翻訳
昭和55年	フランシス・フォード・コッポラ監督映画「地獄の黙示録」で本格的に字幕翻訳家としてデビュー
昭和57年	スティーブン・スピルバーグ監督映画「E.T.」字幕翻訳
平成　4年	第1回淀川長治賞
平成　7年	映画翻訳家協会会長
平成　8年	トム・クルーズ主演映画「ミッション：インポッシブル」字幕翻訳
平成　9年	ジェームズ・キャメロン監督映画「タイタニック」字幕翻訳
平成15年	文化庁長官表彰
平成23年	神田外語大学客員教授
平成28年	第34回川喜多賞
令和　2年	日本映画ペンクラブ賞特別功労賞
令和　3年	第45回日本アカデミー賞会長功労賞
令和　7年	旭日小綬章

顕彰事由

氏は、字幕翻訳家になるという夢のために奔走し、43歳で本格的なデビューを果たしてから、数々の作品の字幕翻訳を通して、長きにわたり多くの人々に海外映画の魅力を伝えてきた。
また、ハリウッドスターなどの通訳も務め、日本と海外の架け橋としての役割を担ってきた。
未知の分野を切り拓き、今なお精力的に活動を続けるその姿は、人々に希望や活力を与え、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

候補者のコメント

このような賞をいただけるとは、まさに寝耳に水の驚きでした。
確かに、毎晩、B29が飛来する東京を逃れて、一年ほど地方に疎開した時期を除いて、私は東京以外の土地で暮らしたことがありません。その点では立派な「都民」でしょうし、この東京という都会に深い愛着を感じています。
外国の都会と一線を画す清潔さ。概ねマナーを守る人々。都民の１人として、今回の「贈り物」を誇りとさせていただきます。

令和７年度　名誉都民候補者

三村　明夫（みむら　あきお）氏

昭和15年11月2日生（84歳　杉並区在住）
日本製鉄株式会社社友名誉会長
東京商工会議所名誉会頭

※年齢は令和7年10月1日現在

経歴

昭和15年	群馬県生まれ
昭和34年	東京大学入学
昭和38年	富士製鐵株式會社入社
昭和47年	ハーバード大学大学院ビジネススクール卒業
昭和60年	新日本製鐵株式會社経営企画部部長代理
平成 元年	新日本製鐵株式會社自動車鋼板販売部長
平成12年	新日本製鐵株式會社代表取締役副社長
平成15年	新日本製鐵株式會社代表取締役社長
平成20年	新日本製鐵株式會社代表取締役会長
平成23年	総合資源エネルギー調査会・基本問題委員会委員長
平成24年	オーストラリア政府よりオナラリー・コンパニオン勲章
同　　年	豪州国立大学名誉博士（科学）号
平成25年	東京商工会議所・日本商工会議所会頭
平成31年	日本製鉄株式会社社友名誉会長
令和　5年	一般社団法人日本原子力産業協会会長
令和　6年	旭日大綬章

顕彰事由

　氏は、長年にわたり鉄鋼業界の発展に寄与し、日本の産業基盤の強化に貢献してきた。

　また、日本商工会議所・東京商工会議所の会頭として、中小企業の活性化をはじめとする、地域創生やエネルギー関連など幅広い政策提言・推進に尽力し、第一線で活躍してきた。

　氏の功績は多大であり、現在も産官学を代表するメンバーから構成される人口戦略会議の議長として人口減少問題に取り組むなど、高い志を持ち、日本社会に貢献し続けるその姿は、広く都民が敬愛し、誇りとするところである。

候補者のコメント

　このたびは、思いがけず東京都名誉都民にご推挙いただき、心より感謝申し上げます。私は、新日本製鐵（現 日本製鉄）での50年のビジネスキャリアを経たのちに、日本商工会議所・東京商工会議所の会頭として、日本経済の重要な担い手である中小企業の活性化に力を注ぎ、近年では、人口減少問題に力を入れています。

　生まれ故郷の群馬県前橋市から18歳で上京し、転勤や留学を除けば、のべ40余年、東京暮らしを続けています。東京の発展が日本の発展につながると考え、今後も微力ながらお役に立ちたいと思います。ありがとうございました。